

第 1867 回例会報告

令和 7 年 5 月 8 日(木)晴



◇会長告知◇

会長 太田 淳也
皆さん、こんにちは。
早いものでゴールデンウィークもあつという間に終わり、会長の任期も残りあと2ヶ月を残す時期になりました。今年度は当クラブの40周年にもあたる節目の年度でもあり、小笠原幹事、小口周年事業実行委員長をはじめ、

会員の皆様のお力添えのお陰で、ここまでなんとかやってくれたと思います。残りの任期も頑張っていきたいと思しますので皆さんのお力添えの方、どうぞよろしくお願い致します。また、ここで新会員をお迎えする事もできまして、たいへん嬉しく思っております。今後も新しい風が次々と吹くことを願っております。
先日の「里山整備事業」の活動も、無事に終わることが出来ました。改めてこの場をお借りしまして感謝申し上げます。やはり、地域の子どもたちと一緒に一つの目的に向かって、肌で自然を感じながら汗をかく事の大切さを実感する事が出来ました。今後も継続して活動していく大切な事業であると思っております。先日、萩田会員が以前から活動されてます下諏訪南小学校と下諏訪中学校を学校の先生方、保護者の皆さま、地域の皆さままで支えていく「なぎがまコミュニティスクール」の会合に私も縁あって参加させて頂く機会がありましたが、そこでも、下諏訪中学校の矢島校長先生が、当クラブの里山整備事業の活動への子供たちの関わり的重要性を発言してくださいました。とても誇らしく会合を終えて帰ってきました。

今日は、小口次年度会長、成山次年度幹事のもと、各委員長の次年度の基本方針を発表して頂く例会となります。40年間の諸先輩方が築き上げてこられたものを守り続けながら、これからの未来に向かって進化し続けるクラブに期待しております。それでは本日もよろしくお願い致します。

◇幹事報告◇ 幹事 小笠原 仁

【報告事項】

1. 会長挨拶にもありましたが、寺島睦史さんが持ち回り理事会承認、皆様への会員選挙を得て、新会員になりました。来週、入会式を行ないますので、宜しくお願いします。

【連絡事項】

- 2025-26 年度長期青少年交換派遣学生募集要項を閲覧いたします。お子さんやお孫さんなど、いかがでしょうか。ご検討ください。



【受領文書】青少年奉仕月間リソースのご案内、バギオだより、第12回全国インターアクト研究会 長野会議の御礼、月信、ロータリーの友、岡谷エコRC よりIM 報告書、ミナダノオの風

【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	31人	9人	20,000円
出席対象	29人		
出席者数	21人	前回累計	637,770円
出席率	67.7%	累計	657,770円
前回修正出席数	人	目標額	60万円
前回修正出席率	%	達成率	109.6%



本日は、次年度会長の基本方針及び各委員長による活動計画発表です。現在進行形で次年度の内容を決めておりますので、各委員会の報告も大まかなものとなりますが、これからしっかり計画を立てて次年度にのぞみたいと思

います。ご協力よろしくお願い致します。
小口 直久
里山整備お疲れ様でした。ご予約も頂きありがとうございました。中学生と一緒に貴重な体験をさせて頂きました。

寺島睦史

GWしっかりとリフレッシュしましたので、仕事に奉仕に頑張っていきます！

五味弾

(メッセージ無し)

宮坂英貴

◇誕生祝い◇



小口直久会員、宮澤孝良会員、福島さつきさん
おめでとうございます





◇例会内容◇

会長・幹事担当例会 ～次年度会長基本方針～

皆さん、こんにちは。
2025-2026 年度、諏訪湖ロータリークラブの会長を務めさせていただきます、小口 直久です。どうぞよろしくお願いいたします。
本日は、私の会長としてのテーマと、これからの一年間に込めた想いについて、お話しさせていただきます。

私が掲げた今年度のテーマは、「**原点回帰 ～『奉仕の心』を未来へつなぐ～**」です。
私たち諏訪湖ロータリークラブは、昨年度、創立 40 周年という大きな節目を迎えました。多くの先輩方が築いてこられた歴史と、地域社会や国際社会に対する長年の貢献に、改めて深く敬意を表します。

この 40 年の歩みの上に立ち、私たちは次なる 45 周年に向かって進み始めています。

そんな今こそ、「なぜ私たちはロータリーに集い、奉仕を行うのか」という原点に立ち返りたいと思ったのです。

ロータリーの基本理念である「**超我の奉仕 (Service Above Self)**」は、自分のことよりも他者のために尽くすという、非常にシンプルで深い言葉です。しかし、日々のロータリー活動や委員会運営の中では、つい形式や日程にとらわれてしまい、本来の意義を見失いがちです。

だからこそ今年は、「**原点回帰**」。
奉仕とは何か。私たちがこのクラブに属し、活動を続ける意味は何なのか。

それを一人ひとりが見つめ直し、次世代へとしっかりとつないでいく一年にしたいと考えています。

今年度は、特に 3 つの視点からクラブの発展を目指していきます。

まず 1 つ目は、「**奉仕の原点を見つめ直す**」こと。
ロータリーの歴史や理念、そして諏訪湖ロータリークラブの歩みを学ぶ機会を設けます。

過去の奉仕活動を振り返りながら、私たちがこれからどこを目指すのか、5 年後の 45 周年へ向けての土台を築いていきたいと考えています。

2 つ目は、「**人と人との結びつきを大切にする奉仕活動**」です。
私たちの活動は、地域に根ざしてこそ意味があります。
例えば、毎年続けている諏訪湖の清掃活動や里山整備。これは単なる環境保全活動ではなく、地域の中学生や子どもたちと一緒にすることで、世代を超えたつながりを生む大切な機会です。

また、つつじヶ丘学園への支援、若者への職業講話や体験、国際奉仕としてのセブ支援など、人に寄り添う奉仕を、より一層充実させていきたいと思えます。

そして 3 つ目は、「**ロータリアンとしての誇りと絆を育む**」こと。
クラブは、会員一人ひとりの思いや行動で成り立っています。
例会では、グループディスカッションなどを取り入れ、会員の皆さんが積極的に参加できる場づくりを目指します。また、夜間例会や親睦イベントなども工夫し、楽しく学び合える関係を築いていきたいと考えています。

奉仕の根本は、「**人と人とのつながり**」です。
私は、例会や委員会、奉仕活動の中で、一人ひとりの声が尊重され、共有される風土こそ、ロータリーの真の強さだと信じています。

全会員の知恵と力を結集しながら、次の時代にふさわしいクラ

ブの姿をとともに描いていきましょう。
次年度、どうか皆さんのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。
ありがとうございました。

～各委員長による活動計画発表～



望月次期クラブ奉仕委員長



田中次期職業奉仕委員長



五味次期社会奉仕委員長



宮坂次期国際奉仕委員長



北原次期クラブ会報雑誌広報委員長



萩田次期 SAA

8月9日(土)財団の補助金を利用して、つつじヶ丘の子供達と白馬岩岳へハイキングに出かけます。是非、ご予定を空けておいて下さい。(小笠原次期青少年奉仕委員長より)



吉澤次期会計



成山次期幹事